

# 内部ホタルの里を育てる会

## 活動紹介

### ■活動場所

内部地区には、波木・北小松・南小松・采女中部・采女が丘の5ヶ所にホタルが生息し、「ホタルを守る会」が組織されています。

### ■活動日、活動頻度等

ホタルに関する活動は、ホタルの生活史に合わせた年間事業計画を組んで進めています。



《トンボ池の獣害対策：イノシシ除けネット設置》

### ■活動内容

- ①4～6月ゲンジボタルの幼虫上陸から蛹化・羽化の生態調査の実施。
- ②同時期に内部・内部東小学校へホタルのパネル展示とホタル教室の実施。
- ③各地区ホタルの会によるホタル観察会の実施(5ヶ所)。今年から東小学校トンボ池も加わる。
- ④各地区にてホタル飛翔調査と水質調査の実施。
- ⑤各地区のホタルを守り・育成していくための独自課題の取り組み。
- ⑥①～⑤までの一年間の取り組みを、8月から各地区でまとめを行い、11月の秋のホタルの報告会で発表する。
- ⑦内部地区でも北小松と采女が丘地区にて太陽光発電の設置問題が発生しており、ホタルへの影響を調査し、対策をしていく。
- ⑧四日市公害と環境未来館との共催で「親子田んぼ体験」を実施。
- ⑨内部東小学校のトンボ池・ホタル池の育成・保存に努める。

## 代表者の想い

内部ホタルの会は、内部・内部東小学校の3年生を対象としたホタル教室を行ってきた。その中で内部東小学校の校長先生より、「歴史あるトンボ池の修復と、何とかホタルが飛ぶ池にできないか」の相談を受ける。地下水が出ていること、用水路にホタルのエサとなるカワニナが生息していることを確認して着手する。

昨年6月にホタルの会と内部東小学校のコミュニティスクールに結集するボランティアで10名を選び「トンボ池の里を育てる会」を発足させる。(地域のボランティア組織を横につなげた組織)

昨年一年間かけて①トンボ池を新しく一つ増やす。②ホタル池をつくる。③獣害(イノシシ)対策をする。④生徒の見学コース作り等、土木作業を行い完成させる。令和2年は、いよいよトンボ・ホタルの生態調査と生息環境の整備等に取り組む。併せて子供たちのホタル教室とトンボを含めた野外教室を行い、学校・PTA・住民などの参加のもとに管理を進める。